

## (2) 重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) の発生状況について

### 1 重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) について (四類感染症)

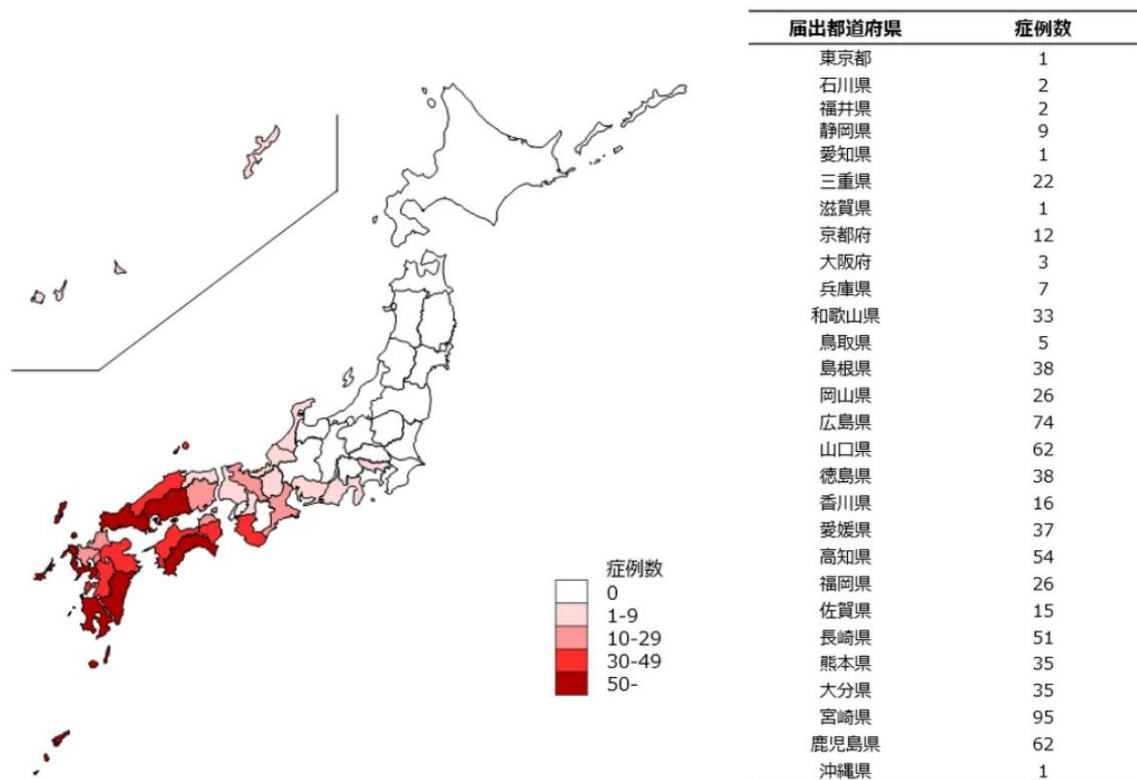
2011年に初めて中国で報告された SFTS ウイルスに感染することによって引き起こされる感染症で、ウイルスを保有しているマダニに咬まれることによって感染されている。

マダニに咬まれてから6日から2週間程度の潜伏期間を経て、主に発熱、消化器症状がみられ、時に頭痛、筋肉痛、神経症状、リンパ節腫脹、呼吸不全症状、出血症状が出現する。

マダニに咬まれないようにすることが重要である。

### 2 発生状況について

(1) 全国での発生状況 (平成25年3月届出開始以降令和4年7月31日までの報告数)

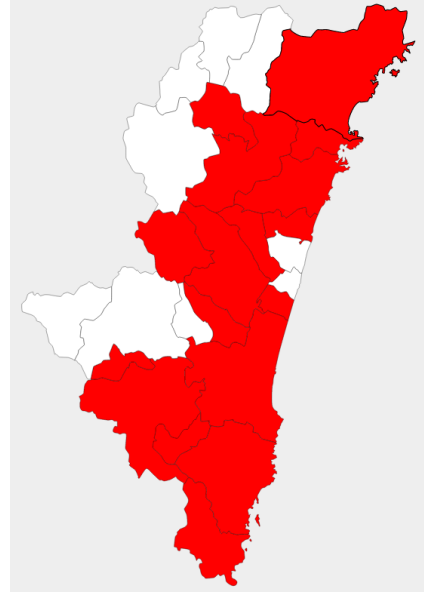


(2) 県内でのSFTS患者疫学調査結果、報告数の推移、年齢別・発症月別報告数  
(平成25年3月届出開始以降令和4年12月31日まで)

【患者の住所地】

(人)

宮崎市	24	国富町	2
日南市	14	串間市	1
延岡市	13	新富町	1
西都市	11	西米良村	1
日向市	9	木城町	1
都農町	4	高原町	1
美郷町	4	諸塚村	1
都城市	3	三股町	1
門川町	3	県外	3
		計	97



【疫学調査の状況】

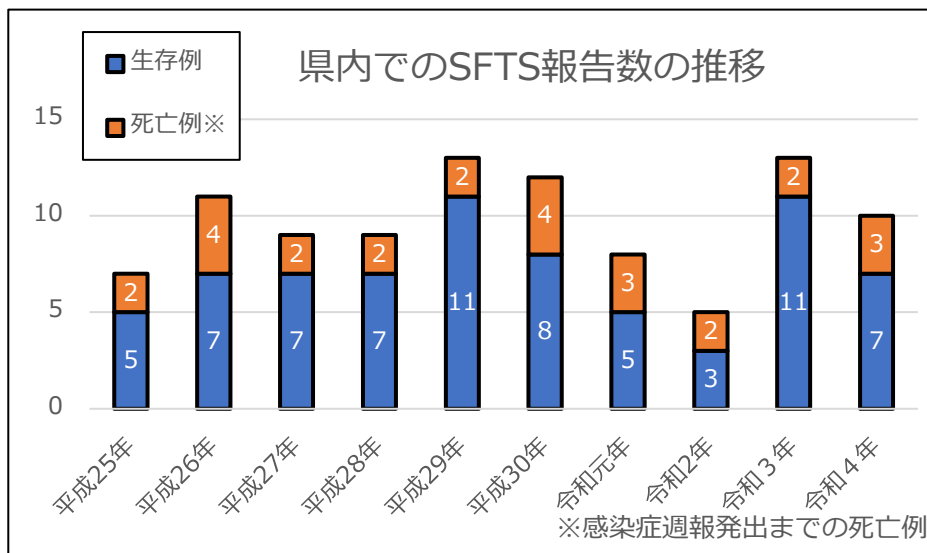
患者の野外作業歴

- ・山や竹藪で作業（林業、山の手入れ、山菜・たけのこ採り、
- ・田んぼや畑で作業（家から離れた畑、自宅敷地内の畑（家庭菜園）、草むしり）
- ・産業動物の世話（牛、鶏、山羊）
- ・草があるような場所（あぜ道、川沿い）で散歩

刺し口

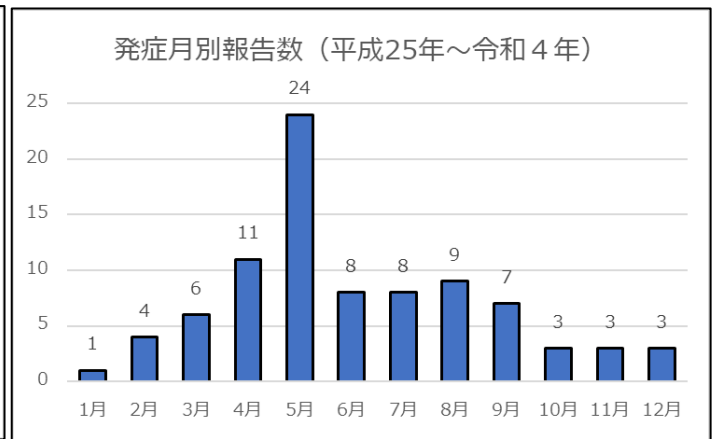
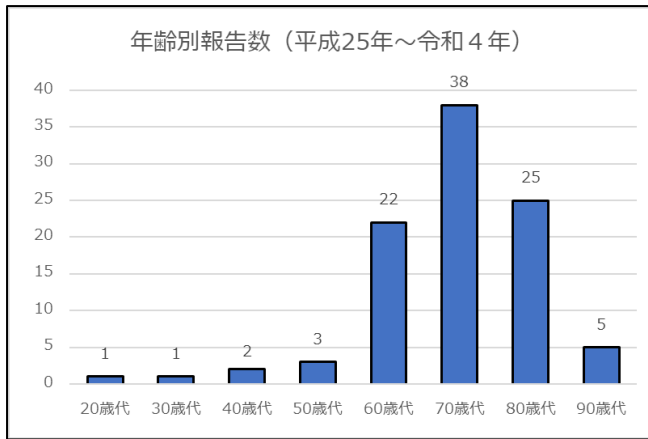
あり 29例（30％） なし54例（56％） 記載なし・不明14例（14％）

【報告数の推移】



【年齢別報告数】


【発症月別報告数】



(3) ペットからの感染事例

令和4年2月にSFTSを発症した患者について、疫学調査の結果、死亡した地域猫の血液に触れていたことが判明した。その後、宮崎大学産業動物防疫リサーチセンターより、この猫がSFTSウイルスに感染していたことが判明したとプレスリリースされた。

令和4年3月18日 宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター プレスリリース (一部抜粋)



**宮崎大学**  
University of Miyazaki

～世界を視野に 地域から始めよう～

**報道発表**

---

各報道機関 御中

令和4年3月18日

宮崎大学企画総務部  
総務広報課長

**重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) の感染源特定について**

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より本学の教育・研究についてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和4年2月24日付けで、宮崎県福祉保健部健康増進課感染症対策室から、重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) を発症した宮崎市内の80代女性が、亡くなった地域猫の体液 (血液を含む) に素手で触れてしまったことにより SFTS ウイルスに感染した可能性が高いことが公表されました。しかしながら、この猫が SFTS ウイルスに感染していたのかどうかは確認されていなかったことから、宮崎大学の医学部附属病院と産業動物防疫リサーチセンターとの連携による追跡調査を実施したところ、この猫が SFTS ウイルスに感染していたことを確認したところであります。

つきましては、下記のとおり、メディア関係者のみを対象としたオンライン形式での説明会を実施することとしたので、取材について検討していただきますようお願い申し上げます。

敬 具

### 3 県の取組について

#### ○県政番組での啓発

県政番組である「みやざきゲンキTV～おしえてケンチャョー～」内にて、SFTSの感染経路や症状、対策法について紹介。

#### ○感染症対策課にてポスター・リーフレットを作成し、保健所や医療機関に掲示、配布を予定。



【令和4年度作成ポスター】